

令和3年1月14日(木):1日目

13:00-13:05 :開会の挨拶-神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班 班長 桑原 聡

13:05-13:10 :ご挨拶-厚生労働省難病対策課・国立保健医療科学院

13:10-13:15 :ご挨拶-日本医療研究開発機構(AMED)

13:15-14:05

神経免疫疾患のエビデンスに基づく診断基準・重症度分類・ガイドラインの妥当性と患者QOLの検証研究班
幹事発表

座長-桑原 聡

| | | | |
|---|-----|-----------|---|
| 1 | 10分 | 演題名 氏名 | MOG抗体関連疾患(MOGAD):診断基準、MOG-IgG測定法、全国調査 ○中島一郎(東北医科薬科大学・脳神経内科) |
| 2 | 10分 | 演題名 氏名 | 「肥厚性硬膜炎」と「自己免疫介在性脳炎・脳症」の診断基準・重症度分類策定と今後の課題 ○河内 泉(新潟大学・脳神経内科) |
| 3 | 10分 | 演題名 氏名 | アイザックス症候群とスティッフパーソン症候群の診断基準と重症度分類 和泉 唯信、○松井 尚子(徳島大学・脳神経内科) |
| 4 | 10分 | 演題名 氏名 | 重症筋無力症 全国疫学調査2018の自己抗体別解析 ○吉川弘明(金沢大学・保健管理センター) |
| 5 | 10分 | 演題名 氏名 | CIDP・POEMS症候群:診療ガイドラインの現状 ○三澤園子(千葉大学・脳神経内科) |

14:05-14:45

全国調査

座長-和泉唯信

| | | | |
|---|-----|-----------|--|
| 6 | 10分 | 演題名 氏名 | 第5回多発性硬化症・視神経脊髄炎全国臨床疫学調査結果第2報 吉良潤一(国際医療福祉大学・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター)、○磯部紀子(九州大学・神経内科) |
| 7 | 10分 | 演題名 氏名 | スティッフパーソン症候群の全国調査第三報 和泉 唯信、○松井 尚子(徳島大学・脳神経内科) |
| 8 | 10分 | 演題名 氏名 | ランバート・イートン筋無力症候群 -全国疫学調査における2次調査結果の解析- ○吉川弘明(金沢大学・保健管理センター) |
| 9 | 10分 | 演題名 氏名 | 日本における自己抗体介在性nodopathy/paranodopathy: 全国調査結果とレジストリー ○吉良潤一(国際医療福祉大学・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター) |

14:45-15:35

MS/NMO

座長-新野正明

| | | | |
|----|-----|-----------|--|
| 10 | 10分 | 演題名 氏名 | 抗MOG抗体関連疾患と抗AQP4陽性視神経脊髄炎の頭部MRI画像における病変分布の比較検討 藤原一男(福島県立医科大学・多発性硬化症治療学講座)、○松本勇貴(東北大学・神経内科) |
| 11 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症の髄鞘再生に関する臨床因子の解析 中原 仁、○久富木原健二(慶應義塾大学・神経内科) |
| 12 | 10分 | 演題名 氏名 | 認知機能評価とMRIを用いた多発性硬化症予後予測モデルの研究 新野正明、○宮崎雄生(北海道医療センター・臨床研究部) |
| 13 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症と視神経脊髄炎における炎症性グリア変性と神経変性の免疫病理学的・放射線学的検討 ○河内 泉(新潟大学・脳神経内科) |
| 14 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症及び視神経脊髄炎における酢酸PETを用いたアストロサイトイメージング 中辻裕司(富山大学・脳神経内科)、○奥野龍禎(大阪大学・神経内科) |

15:35-16:05

休憩

16:05-16:55

MS/NMO/基礎

座長-山村 隆

| | | | |
|----|-----|-----------|---|
| 15 | 10分 | 演題名 氏名 | GLIPH法による多発性硬化症特異的T細胞受容体の同定とその意義 吉良潤一(国際医療福祉大学・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター)、○林 史恵(九州大学・神経内科) |
| 16 | 10分 | 演題名 氏名 | 難治性多発性硬化症に関連する腸内細菌種、細菌代謝機能の解明 山村 隆、○竹脇大貴(国立精神・神経医療研究センター・免疫研究部) |
| 17 | 10分 | 演題名 氏名 | T peripheral helper細胞とswitched memory B細胞のAQP4抗体陽性NMOSDにおける働き第2報 横山和正、○星野泰延(順天堂大学・神経学) |
| 18 | 10分 | 演題名 氏名 | 免疫性中枢神経疾患における病態を反映したB細胞フェノタイプ解析 ○千原典夫(神戸大学・脳神経内科) |
| 19 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症および視神経脊髄炎スペクトラム患者急性期における末梢血細胞性免疫動態とneuroinflammationの共通点と相違点 ○松井 真(金沢医科大学・神経内科学) |

16:55-17:45

免疫介在性疾患

座長-神田 隆

| | | | |
|----|-----|-----------|---|
| 20 | 10分 | 演題名 氏名 | 脳皮質アストログリアCx43による中枢神経炎症の制御 吉良潤一(国際医療福祉大学・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター)、○山崎 亮(九州大学・神経内科) |
| 21 | 10分 | 演題名 氏名 | 血中GRP78抗体は自己免疫性中枢神経疾患のバイオマーカーか？ 神田 隆、○古賀道明(山口大学・神経内科) |
| 22 | 10分 | 演題名 氏名 | 自己免疫性小脳性運動失調症に関連する抗神経抗体の検索 ○木村暁夫(岐阜大学・脳神経内科) |
| 23 | 10分 | 演題名 氏名 | 免疫介在性肥厚性硬膜炎の臨床的・免疫学的・病理学的解析～発症部位からの考察～ 河内 泉、○中島章博(新潟大学・脳神経内科) |
| 24 | 10分 | 演題名 氏名 | 神経変性病態にともなう脳内慢性炎症環境の分子基盤の解明 山村 隆、○大木伸司(国立精神・神経医療研究センター・免疫研究部) |

令和3年1月15日(金):2日目

9:00-9:30

HAM

座長-山野嘉久

| | | | |
|----|-----|-----|--|
| 25 | 10分 | 演題名 | HAM患者のゲノム異常とクローン構造の高感度解析によるATL発症リスクの評価 |
| | | 氏名 | 山野嘉久(聖マリアンナ医科大学 難病治療研究センター、聖マリアンナ医科大学 脳神経内科)、○山岸誠(東京大学大学院 新領域創成科学研究科 病態医療科学分野) |
| 26 | 10分 | 演題名 | リアルワールドデータにより示されたHAMの排尿障害に対するミラベクロンの有用性 |
| | | 氏名 | 山野嘉久、○飯島直樹(聖マリアンナ医科大学・脳神経内科) |
| 27 | 10分 | 演題名 | HAM患者における髄液でのHTLV-1特異的TCRレパトアの同定 |
| | | 氏名 | ○野妻智嗣(鹿児島大学・脳神経内科・老年病学) |

9:30-10:00 *15分(10分発表5分質疑)

レジストリ

座長-桑原 聡

| | | | |
|----|-----|-----|---|
| 28 | 15分 | 演題名 | 難病プラットフォーム(Rare Disease Data Registry of Japan: RADDAR-J)について |
| | | 氏名 | ○山野嘉久(聖マリアンナ医科大学・脳神経内科) |
| 29 | 15分 | 演題名 | 神経免疫疾患レジストリ:CIDP・クロー・深瀬症候群の現状 |
| | | 氏名 | 桑原 聡、○三澤園子(千葉大学・脳神経内科) |

10:00-10:40

治験

座長-三澤園子

| | | | |
|----|-----|-----|--|
| 30 | 10分 | 演題名 | 視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性検証試験の継続投与試験(RIN-2試験) |
| | | 氏名 | ○田原将行(宇多野病院・臨床研究部) |
| 31 | 10分 | 演題名 | IgG4自己抗体陽性の難治性慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)患者を対象としたリツキシマブの有効性と安全性評価に関する多施設共同臨床試験 |
| | | 氏名 | ○飯島正博(名古屋大学・神経内科) |
| 32 | 10分 | 演題名 | 「再発性多発性硬化症患者を対象としたNKT細胞標的糖脂質OCH-NCNP1の第II相医師主導治験」の現状と課題 |
| | | 氏名 | 山村 隆(国立精神・神経医療研究センター・免疫研究部)、○岡本智子(国立精神・神経医療研究センター・脳神経内科) |
| 33 | 10分 | 演題名 | ギラン・バレー症候群におけるエクリズマブ開発 |
| | | 氏名 | ○三澤園子(千葉大学・脳神経内科) |

10:40-11:00

MG

座長-村井弘之

| | | | |
|----|-----|-----|--|
| 34 | 10分 | 演題名 | GWASを用いた重症筋無力症の遺伝的要因の解析—日本MGLレジストリー多施設研究— |
| | | 氏名 | ○村井弘之(国際医療福祉大学・脳神経内科) |
| 35 | 10分 | 演題名 | コリンエステラーゼ阻害薬が著効し、ADLが改善したLEMSの2例 |
| | | 氏名 | 本村政勝(長崎総合科学大学・医療工学コース)、○山崎 浩(兵庫中央病院・脳神経内科) |

11:00-11:40

GBS、免疫介在性ニューロパチー

座長-楠 進

| | | | |
|----|-----|-----|---|
| 36 | 10分 | 演題名 | 多巣性運動ニューロパチーにおけるフォスファチジン酸添加抗原に対するIgM抗体反応の検討 |
| | | 氏名 | 楠 進、○桑原 基(近畿大学・脳神経内科) |
| 37 | 10分 | 演題名 | 運動神経伝導検査パラメータを用いた判別分析によるCharcot-Marie-Tooth病1Aと抗MAG抗体陽性ニューロパチーの新たな鑑別法 |
| | | 氏名 | 園生雅弘、○神林隆道(帝京大学・脳神経内科) |
| 38 | 10分 | 演題名 | 自己免疫性自律神経節障害の動物モデル作製 |
| | | 氏名 | ○中根俊成(熊本大学・分子神経治療学) |
| 39 | 10分 | 演題名 | 合成HNK-1化合物を用いた新たなMAG抗体測定系の作製 |
| | | 氏名 | 千葉厚郎、○中島昌典(杏林大学・脳神経内科) |

11:40-12:40

昼食・事務連絡

12:40-13:10

CIDP

座長-小池春樹

| | | | |
|----|-----|-----|--|
| 40 | 10分 | 演題名 | IgG4抗NF155抗体陽性CIDPにおける脳神経障害:視神経(中枢神経有髄線維)と三叉神経(末梢神経有髄線維)障害の相違に焦点を当てて |
| | | 氏名 | 吉良潤一(国際医療福祉大・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター)、○緒方英紀(九州大学・神経内科) |
| 41 | 10分 | 演題名 | CIDPにおける血清ニューロフィラメント軽鎖濃度と臨床病理所見およびNF155自己抗体の関連性の検討 |
| | | 氏名 | 飯島正博、○深見祐樹(名古屋大学・神経内科) |
| 42 | 10分 | 演題名 | 免疫介在性ニューロパチーにおけるマクロファージの役割と自己抗体の意義 |
| | | 氏名 | ○小池春樹(名古屋大学・脳神経内科) |

13:10-14:10

MS/NMO臨床

座長-清水優子

| | | | |
|----|-----|-----|---|
| 43 | 10分 | 演題名 | 発性硬化症をはじめとする免疫性神経疾患合併妊娠における母体疾患活動性評価と胎児リスク評価の検討 |
| | | 氏名 | 河内 泉、○柳川香織(新潟大学・脳神経内科) |
| 44 | 10分 | 演題名 | 視神経脊髄炎スペクトラム障害合併妊娠における抗アクアポリン4抗体と転帰についての検討 |
| | | 氏名 | ○清水優子(東京女子医科大学・脳神経内科) |
| 45 | 10分 | 演題名 | 視神経脊髄炎に対する生物学的製剤導入を検討する患者像 |
| | | 氏名 | 楠 進、○宮本勝一(近畿大学・脳神経内科) |
| 46 | 10分 | 演題名 | 新規in vitro血液脳関門モデルを用いた視神経脊髄炎における血液脳関門での病態とIL-6標的抗体の作用機序 |
| | | 氏名 | 神田 隆(山口大学・神経内科)、○竹下幸男(山口大学・神経内科) |
| 47 | 10分 | 演題名 | 視神経脊髄炎関連疾患における再発率と血清補体との関連性 |
| | | 氏名 | 海田賢一、○王子 聡(埼玉医科大学総合医療センター・神経内科) |
| 48 | 10分 | 演題名 | 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)におけるB細胞受容体レパトアの偏倚 |
| | | 氏名 | 山村 隆、○佐藤和貴郎(国立精神・神経医療研究センター・免疫研究部) |

14:10-15:00

MS/NMO治療

座長-横田隆徳

| | | | |
|----|-----|-----------|--|
| 49 | 10分 | 演題名 氏名 | Natalizumab 7週毎投与は4週毎投与と同等の効果を示す: 多発性硬化症335人、3年間までの観察 ○斎田孝彦(関西多発性硬化症センター) |
| 50 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症疾患修飾薬への反応性と血清Sema4Aについての検討 中辻裕司(富山大学・脳神経内科)、○甲田 亨(大阪大学・神経内科) |
| 51 | 10分 | 演題名 氏名 | 多発性硬化症の治療戦略は重症度及び視床容積と関連している 横田隆徳、○横手裕明(東京医科歯科大学・脳神経内科) |
| 52 | 10分 | 演題名 氏名 | 進行型多発性硬化症のグリア炎症を標的とした新規治療開発 ○吉良潤一(国際医療福祉大学・トランスレーショナルニューロサイエンスセンター) |
| 53 | 10分 | 演題名 氏名 | 神経免疫分野の医療経済分析2020 ○荻野美恵子(国際医療福祉大学・脳神経内科) |

15:00-15:05 :閉会のあいさつ 班長 桑原 聡